

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		障害給付認定審査事業			事業コード	2092
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課		担当係名		
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課長 佐々木幸司	担当者名	清見 則行		電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード 3
	基本事業	障がい者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 2目 障害給付認定審査事業 (001-07)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成18年度～)					
事務事業の概要	障害者自立支援法に基づき、障がい者が障害福祉サービスを利用するために必要な障害程度区分を審査認定する。					
根拠法令等	障害者自立支援法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
障害者自立支援法の施行により、介護給付費等を支給するために、障害程度区分の審査及び判定が必要となったため						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
事業者から、障がい者の状態がうまく反映されず、実態よりも区分が低くなっているのではないかと意見がでることがある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
経過措置が切れる平成24年3月末までに旧法支援施設は新法施設体系に移行しなければならないので、旧法施設利用者の障害程度区分認定審査を行う必要が生じる。また、障害者総合福祉法の施行が予定されており、障害程度区分の調査項目等が変更になることが想定される。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	18歳以上の障がい者で介護給付の申請を行った者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 延べ申請件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 障害程度区分を審査判定する認定審査会を開催する 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 障害程度区分を審査判定する認定審査会を開催する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 審査会開催数	単位	回
				B. 審査判定件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	障害程度区分を審査判定し認定することにより、希望する障害福祉サービスを利用することができる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 認定件数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	件
				B. 不服申立件数 【指標の性格: ○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	件
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	社会参加の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	就労している障がい者割合(障がい者アンケート)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	延べ申請件数	件	443	414	420	443	482	482	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	審査会開催数	回	35	35	36	33	36	36	年度
活動 指標B	審査判定件数	件	443	414	420	443	482	482	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	認定件数	件	443	414	420	443	482	482	年度
成果 指標B	不服申立件数	件	0	0	0	0	0	0	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	8,617	8,609	9,569	9,089	9,621	9,621	*****
財源 内訳	④国	千円	4,399	2,449	2,573	2,235	2,605	2,605	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	4,218	6,160	6,996	6,854	7,016	7,016	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	8,617	8,609	9,569	9,089	9,621	9,621	*****
	延べ業務時間数	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	16,617	16,609	17,569	17,089	17,621	17,621	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 障害程度区分の認定を受けることによって様々な障害福祉サービスを受けられるようになり、施設に通所したりヘルパーを利用できる等、障がい者の社会参加の促進が図られるため
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 不服申立ては現在まで無し。認定件数は障がい者からの申請を受けての審査件数となり、サービス利用の相談があった場合には、速やかに調査を行い区分認定審査を行っているため
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 廃止・休止することにより障害程度区分の認定を行うことができず、障がい者が福祉サービスを利用できなくなり社会参加促進の機会が減少するため。また、法定事務であることから、廃止・休止はできないため
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 介護認定審査会事務 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 根拠法が異なるため
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在も委員報酬、意見書作成料、意見書返信分郵便料、審査会資料作成料の用紙代のみであり、これ以上の削減は不可能であるため
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 認定審査業務に係る業務について、これ以上削減する余地は無いため
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 法定業務のため
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 法定業務のため

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 障がい者の状況について適切に反映できるよう、聞き取り調査の精度の向上を図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 聞き取り調査の精度を上げるため、調査時のポイント等、調査員による情報交換等を行う。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p> <p>② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p> <p>③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p> <p>④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>法定事務であり、基準に沿った運営をしている。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
									
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>法定事務であり、法に沿って適正に運用する。障がい者の状況調査を適切に行い、認定審査会の円滑な運営を図る。</p>									